



本製品はハンダゴテ専用の温度計です。
用途以外には使用しないでください。

HOZAN

H-767

業務用


ハンダゴテ温度計

取扱説明書

このたびは ホーザン H-767 ハンダゴテ温度計をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この製品は持ち運び可能な電池式のデジタルハンダゴテ温度計です。



梱包内容をご確認いただき、不足、破損のある場合は、お求めの販売店もしくは当社までお申し出ください。この取扱説明書には下記のマークをつけています。

 拡大損害が予想される事項

- この取扱説明書をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- 第三者に譲渡・貸与される場合も、この説明書を必ず添付してください。
- 本製品に関するお問い合わせは、お求めの販売店もしくは当社にご連絡ください。

もくじ

各部の名称	3
安全上のご注意	4
本体の使用方法	5
・ 準備	5
・ 使用方法	5
基本仕様	6
交換部品・オプション	6
日常点検	7
メンテナンス・保管方法	7-11
・ 本体の保守、お手入れ	7
・ 保管方法	8
・ 電池の保管方法	8
・ 精度確認について	9
・ 校正について	9-11
製品の廃棄について	12
故障かな？と思ったら	12
お問い合わせ窓口	12

各部の名称



梱包内容



本体



取扱説明書

積層(6F22)電池を内蔵しておりますが、
動作確認用につき、寿命の保証はございません。

用意するもの

- ハンダゴテ (500℃までのもの)
- ハンダ

安全上のご注意

使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく使用してください。

この取扱説明書には下記のマークを付けています。

△拡大損害が予想される事項 ⊘禁止行為 ❶必ず行う ④分解禁止

この取扱説明書ではご使用上の注意事項を次のように区別しています。

⚠警告 …重傷をとまなう重大事故の発生を想定してのご注意

⚠注意 …傷害や物的損害を想定してのご注意

なお、△注意として記載されていても、あるいは特に記述がなくても、状況によ大な結果をまねくおそれがあります。正しく安全にご使用ください。



警告

重傷をとまなう重大事故の発生を想定してのご注意

絵表示	重要事項	危害・損害
⊘	測定直後のセンサに手を触れない。	やけどのおそれがある。



注意

傷害や物的損害を想定してのご注意

絵表示	重要事項	危害・損害
⊘	センサ中央部を強く押しつけない。	センサが断線するおそれがある。
⊘	500℃以上のハンダゴテには使用しない。	故障のおそれがある。
❶	水平で安定した場所に設置する。	器物損傷・故障のおそれがある。
⊘	落下などの衝撃を与えない。	

本体の使用方法

準備

本体を設置する

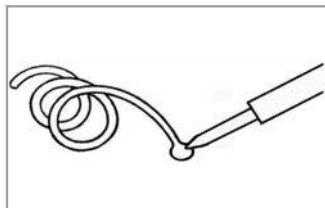
水平で安定した作業台に設置します。

使用方法

1. 電源スイッチをONにする

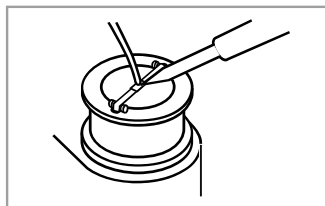
ディスプレイに室温が表示されます。

2. ハンダを溶かし、コテ先の温度が十分上がっていることを確認する



3. センサ中央部にコテ先をあてがい、ディスプレイの表示を読み取る

コテ先からセンサへの熱伝導を向上させるため、ハンダを少量供給してください。



注意

センサが断線するおそれがある。



コテ先を強く当てすぎないでください。50～100g程度の重量が掛かるぐらいが適当です。

4. 作業終了後、電源スイッチをOFFにする

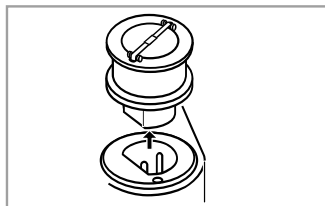
使用後のお手入れをします。(7ページ参照)

エラー表示

ディスプレイに「1」「LO BAT」と表示される場合はエラーを示しています。各エラーに応じた対処を実施してください。

● 「1」と表示される

センサに関するエラーです。センサを取り外している場合や断線している場合に表示されます。断線している場合は新しいセンサに交換してください。右図のように上に引き抜くと、センサを取り外すことができます。



● 「LO BAT」と表示される

電池の交換時期です。新しい電池に交換してください。交換方法は9ページをご参照ください。

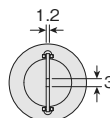
基本仕様

測定範囲	0~500℃
センサ	H-768
分解能	1℃
確度	±(1%rdg+1dgt)
最大表示	1999カウント
サンプルレート	1.25回/秒
電源	積層(6F22)電池×1 付
電池寿命	約100時間(連続使用時)
外形寸法	120(W)×100(H)×145(D)mm
重量	657g

交換部品・オプション

交換部品

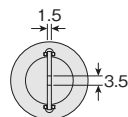
品番	品名	ハンダゴテ目安
H-768 (標準付属品)	センサ	11W~



■デジタル用(JIS 熱電対 K クラス 2)
※センサの呼びハンダは鉛フリーハンダを使用しています。

オプション

品番	品名	ハンダゴテ目安
H-763	センサ	30W~



■デジタル用(JIS 熱電対 K クラス 2)
※センサの呼びハンダは鉛フリーハンダを使用しています。

パーツリスト

Webサイトに「パーツリスト」を掲載しております。



日常点検

安全にご使用いただくために下記の日常点検をお勧めします。

点検項目	点検内容	処置方法
設置場所	水平で安定した場所に設置できていますか。	5ページを参照してください。
部品	ネジなどの部品は正しく取り付けられていますか。	正しく取り付けることができない場合は当社まで点検・修理をご依頼ください。
音・振動	異常な音、振動はどはしませんか。	異常がある場合は使用せずに、当社まで点検・修理をご依頼ください。

メンテナンス・保管方法

本体の保守、お手入れ

- 電源スイッチをOFFにしてからお手入れをおこなってください。
- センサにはフラックスがたまりますので、ときどき洗浄剤(当社 Z-293 フラックスリムーバー、Z-275 フラックスクリナーなど)をしみこませた布で軽くふき取ってください。

長期間のご使用により、センサとベースの嵌合が緩く／固くなる場合があります。下記の方法で調整してください。

- 固くする：センサベース側接点の割りピンの間隔をマイナスドライバー等で広げてください。



- 緩くする：センサベース側接点の割りピンの間隔をラジオペンチなどで狭めてください。



メンテナンス・保管方法

保管方法



注意 ケガ・器物損傷・故障のおそれがある。



長時間使用しないときは、電池を取り外して保管してください。



子どもの手の届かない安全なところに保管してください。

- 高温・湿気・ほこりを避けて保管してください。

電池の交換方法

No.1 ドライバーをご用意ください。

1. 電源スイッチをOFFにする
2. 底フタ固定ネジ4本をドライバーで外し、底フタを取り外す



注意 故障のおそれがある。



電池ホルダー、スナップコネクタ以外に手を触れたり、加工したりしないでください。

3. 電池ホルダーから電池を外す
片手で電池を押さえ、リボンを引くとはね上らず、うまく外せます。
4. 古い電池からスナップコネクタを外し、新しい電池に接続する
5. 電池ホルダーと電池の間にリボンをはさみ込みながら電池を押し込む
6. 2と逆の手順で底フタを取り付ける

メンテナンス・保管方法

精度確認について

一定期間ご使用後の校正は当社までご依頼ください。校正の周期については、当社での基準はございませんので、お客様において任意の校正周期を設定してください。
なお、当社の校正業務に使用する標準器は、一年に一度の定期校正を実施しております。

校正ご依頼時の品番

品番	品名	備考
H-767-CA	校正料 (校正証明書・成績表・チャート付)	※ご購入者名入り証明書を作成しますので、 ご注文時に会社名等が必要です。 ※商品は含まれません。

校正について

お客様にて校正をしていただくこともできますが、このことで生じる不測の事態につきまして当社では責任を負いかねます。あらかじめご承知おきください。

用意するもの： 熱電対温度計校正用の標準発生器、または直流標準電圧発生器、
またはデジタルボルトメータ（以下「標準器」とします）

標準試験温度： 室温中（ 20°C < 室温 < 23°C ）で作業を行ってください。

校正準備： 標準試験温度の室温中に30分程度の間、標準器と本体を留置する。

基準接点温度校正

1. センサを取り付けた状態で、何も接続せずに本体の電源をONにする



注意

正確な校正ができないおそれがある。



センサに触れないでください。

2. 約1分間のウォームアップの後、ディスプレイの示す値と室温を比較する

3. その差が $\pm 2^{\circ}\text{C}$ 以内に収まっているか確認する

この範囲に収まらない場合は修理をご依頼ください。

メンテナンス・保管方法

校正について

温度校正

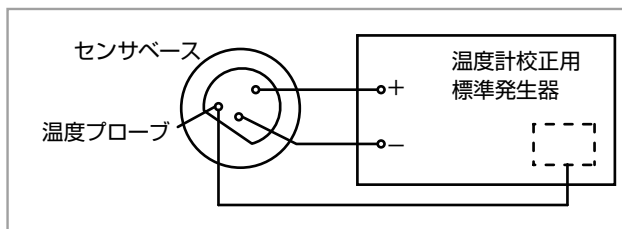
熱電対温度計校正用標準発生器の場合

1. 基準接点温度が基準値内にあるか確認する

2. センサを引き抜いて下図のように接続する

標準発生器の取り扱いについてはその説明書に従ってください。

H-767は基準接点補償をしておりますので発生器も補償用温度プローブを使用してください。
温度プローブはセンサピン付近に置いてください。



3. 本体の電源をONにする

4. 標準発生器から400℃に対応する電圧を印加する

5. ディスプレイの表示が401℃ ± (1%rdg+1dgt) の範囲に収まっているか確認する

1%rdg…ディスプレイに表示された数値の1%

1dgt…ディスプレイの最小桁1コ分

400℃が合った状態で500℃に対応する電圧を印加したときのディスプレイの表示は503℃、300℃では298℃、200℃では199℃、100℃では101℃となりますが、これはK種熱電対の温度と発生起電力の関係が若干直線性に欠ける特性によるものです。

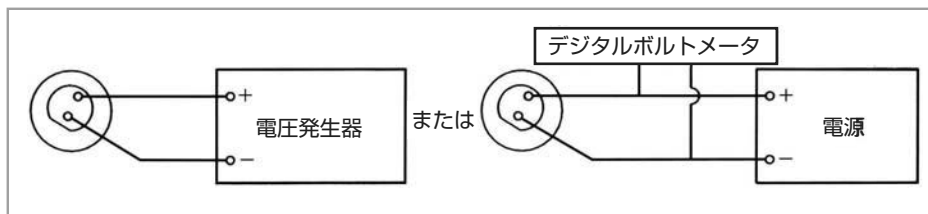
メンテナンス・保管方法

校正について

温度校正

熱電対温度計校正用標準発生器以外の場合

1. 基準接点温度が基準値内にあるか確認する
2. センサを引き抜いて下図のように接続する



3. 本体の電源をONにする
4. 基準接点温度(室温)指示を読みとり、右表よりその温度に対する基準熱起電力を求めます。

室温 (°C)	起電力(mV)
20	0.798
21	0.838
22	0.879
23	0.919
24	0.960
25	1.000
26	1.041

5. 表の400°Cに対応する電圧から上記4で求めた電圧を差し引き、その電圧を印加します。

温度 (°C)	熱起電力(mV)
500	20.640
400	16.395
300	12.207
200	8.137
100	4.095
0	0

(JIS C 1602 による)

6. ディスプレイの表示が401°C ± (1%rdg+1dgt) の範囲に収まっているか確認する

製品の廃棄について

廃棄するときは各自治体（または工場）の廃棄方法に従ってください。

故障かな?と思ったら

製品に異常を感じたら、下記のお問い合わせ窓口までご連絡ください。
技術的なお問い合わせ、修理のご依頼などに対応しております。

よくあるご質問 (FAQ)



Webサイトでは、頻繁にお問い合わせがある質問を
製品カテゴリごとにまとめて紹介しています。

ぜひご活用ください。

<http://faq.hozan.co.jp/support/>

お問い合わせ窓口

ホーサン テクニカルホットライン

☎ 06-6567-3132

E-mail : th@hozan.co.jp

[月曜日から金曜日(祝日を除く)の10:30~12:00、13:00~17:00]

<https://www.hozan.co.jp/>



製造元 **ホーサン株式会社**

本社 〒556-0021

大阪市浪速区幸町1-2-12

TEL(06)6567-3111

FAX(06)6562-0024

<https://www.hozan.co.jp/>